

マロニエ

福島市立平野中学校 学校だより No.14

文責：校長 佐藤 裕子



君たちはどう生きるか。

1年生のみなさんが、美術科の授業「見つめると見えてくるもの」で、熱心に作品づくりを行っています。昨日も1組のみなさんが、葉っぱや消しゴム、くぎ、えんぴつ…自分の身の回りにあるものを形や色彩に着目してじっくり観察していました。観察を深めることで、自分にとって大切なもののこと、自分がどのようなものに興味をもつのか…様々なことが見えてくるようでした。「全体を見ておおまかな形を捉えてから細かい部分を描くとうまくいく」「まず、一番明るい部分はどこだろう、暗い部分はどこだろう、と考えるとよい」「線の重なりや筆圧を工夫する」など、学びを深めていました。“葉っぱは緑!”というような固定されたイメージを開放して、どんな色が見えるか探すと本当に面白そう! 色とりどりの色鉛筆を見て、そう思いました。



定期テストや二者相談があり、昨日から三者面談がはじまりました。自分自身のことを様々な角度からじっくり観察し、一番身近にいる家族や担任の先生が、自分のことをどんなふうに見ているのか、考えているのか、よく耳を傾けること。そして、自分というキャンパスに、自分でどんな色を付けていきたいのか…。見つめると見えてくるものが絶対あります。あきらめない! 逃げない! あなたの周囲の大人たちはあなたを心から応援しています。

吉野源三郎著『君たちはどう生きるか』、お勧めです。主人公のコペル君が友人たちと学校生活を送る中で、様々な出来事を経験し、観察します。「ものの見方・考え方」が大きく変わる、そんな一冊です。同じ内容のマンガもあり、とても読みやすいです。



いじめ、貧窮、差別、学問—人間として大切なことを問い続ける永遠の名作!

65周年記念



←お子様にお伝えください。